

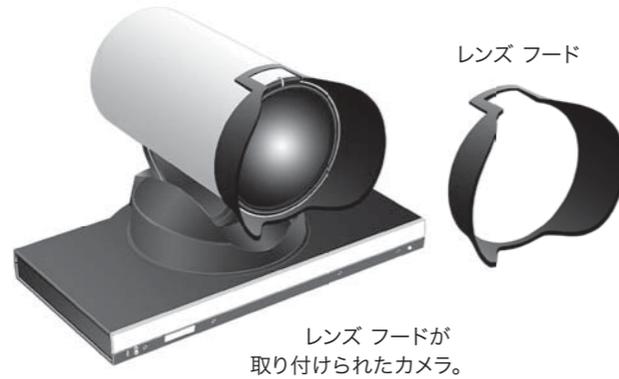
同梱物:

- PrecisionHD 1080p 12X カメラ
- レンズフード
- 電源 (12Vdc)
- 主電源ケーブル
- HDMI ケーブル (5m / 16フィート)
- HDMI - DVI-D アダプタ
- VISCA カメラ コントロール ケーブル (5m / 16フィート)、RJ45 - DB9
- デイジーチェーン ケーブル、RJ11 - RJ45

ユーザ マニュアル

本製品のユーザ マニュアルは、シスコの Web サイトにあります。URL: <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs> を参照してください。

1 ビデオの使用中に、眩光が妨害にならないよう、レンズ フードを取り付けることを推奨します。



2 カメラを上下逆にして、ビデオ出力のフォーマット設定を確認してください。必要に応じて設定を変更してください。



| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | HDMI | HD-SDI |
|---|---|---|---|---|----------|----------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 自動 | 自動 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1080p25 | 1080p25 |
| 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1080p30 | 1080p30 |
| 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1080p50 | 720p50 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1080p60 | 720p60 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 720p25 | 720p25 |
| 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 720p30 | 720p30 |
| 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 720p50 | 720p50 |
| 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 720p60 | 720p60 |
| 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | ソフトウェア操作 | ソフトウェア操作 |

この表は、HDMI 出力と HD-SDI 出力で使用可能な各設定を示します。

自動: カメラは、HDMI 上でフォーマットを認識します。HD-SDI は HDMI を追跡し、HDMI 同期がない場合はデフォルトで 1080p30 を使用します。

ソフトウェア: ソフトウェア操作の設定の詳細については、PrecisionHD カメラのユーザ ガイドに記載の VISCA™ コマンドを参照してください。

3 カメラをコーデックに接続します。C シリーズのコーデックに接続すると、電源はコーデックから供給されるため、カメラの電源は必要ありません。

VISCA™ コマンド

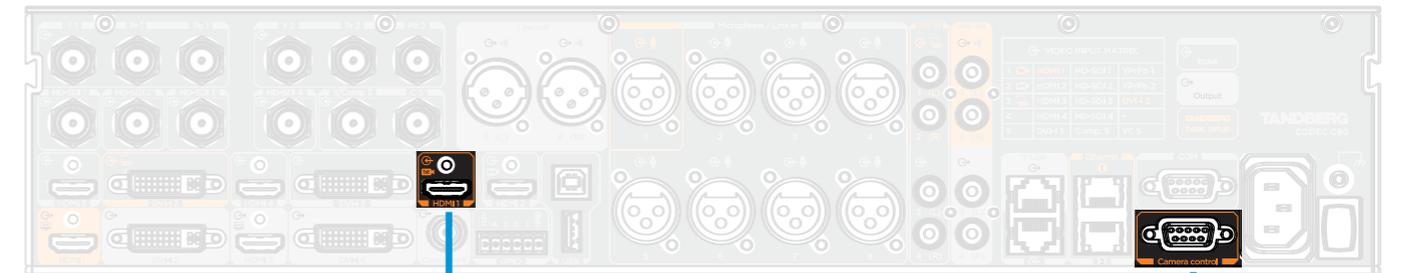
カメラを操作するための VISCA™ コマンドについては、PrecisionHD カメラのユーザ ガイドを参照してください。

VISCA™ は Sony Corporation の商標です。



カメラを C シリーズのコーデックと使用する場合は、電源接続は必要ありません。

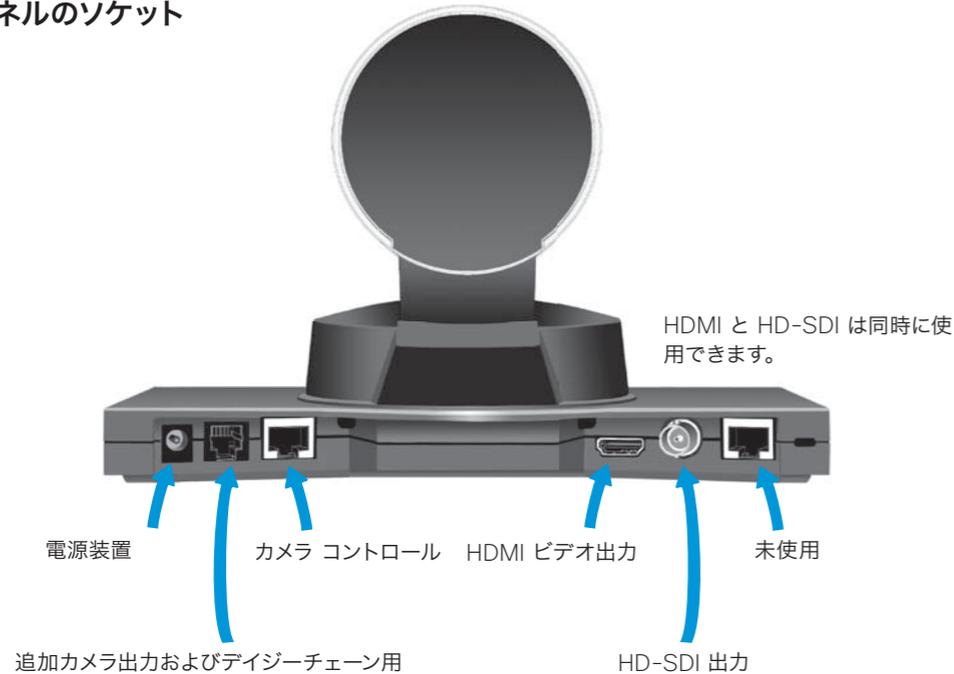
カメラ コントロール。RJ45 - RS232。VISCA™ プロトコルがサポートされます。



カメラの HDMI HD ビデオ出力を、コーデックの HDMI メイン カメラ入力に接続します。

カメラを PrecisionHD ビデオ スイッチまたは DVI-D ソケットを持つシステムに接続する必要がある場合は、同梱の HDMI - DVI-D アダプタを使用してください。

背面パネルのソケット



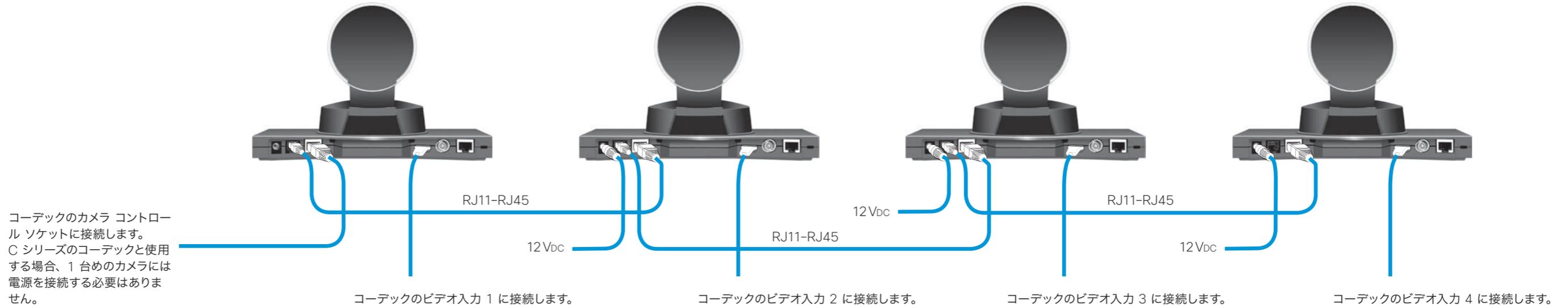
カメラをデジチェーン接続する

例:ここに、4 台の PrecisionHD 1080p 12X カメラをカスケード接続した構成を示します。カメラは、C シリーズ コーデックの 4 つの HDMI ビデオ入力コネクタに接続されています。

HDMI および HD-SDI。 HDMI と HD-SDI は、同じカメラで同時に使用できません。

電源。 チェーン内の最初のカメラの電源は、VISCA カメラ コントロール ケーブルを通じて、コーデックから供給されます。追加のカメラは、12Vdc 電源入力を使用する必要があります。

ケーブルのデジチェーン接続。 カメラのデジチェーン接続は、追加カメラ出力およびコーデック操作入力ソケット間でデジチェーン ケーブルを使用して接続します。



ケーブルを自作する

ピン配列: PrecisionHD カメラ ケーブル RJ45 (8 ピン) - D-SUB

| 信号名 | RJ45 ピン | D-SUB ピン |
|--------|---------|----------|
| +12Vdc | 1 | 4 |
| GND | 2 | 5 |
| RX | 3 | 2 |
| TX | 6 | 3 |
| NC | 4 | 1 |
| NC | 5 | 6 |
| GND | 7 | 5 |
| +12Vdc | 8 | 4 |

ピン配列: VISCA カメラ コントロール RJ45 8 ピン シールド付きモジュラ ジャック

| ピン | 信号名 |
|----|--------------------------------|
| 8 | +12V (デジチェーン接続した場合、2.8mA の電流源) |
| 7 | GND |
| 6 | TXD (出) |
| 5 | NC (接続なし) |
| 4 | NC (接続なし) |
| 3 | RXD (入) |
| 2 | GND |
| 1 | +12V |

ピン配列: VISCA デジチェーン RJ11 6 ピン モジュラ ジャック

| ピン | 信号名 |
|----|-----------------------|
| 6 | GND |
| 5 | GND |
| 4 | RXD (入) |
| 3 | TXD (出) |
| 2 | Presence (12V、デジチェーン) |
| 1 | GND |

カメラを上下逆に取り付ける

カメラは、上下逆に取り付けることもできます。そうすると、カメラとモニタを近くに設置できるため、ビデオ会議出席者のアイ コントクトを向上することができます。

カメラの電源を入れると、カメラの向きは自動的に検出されます。画像を画面に正常に表示するために、手動で設定を行う必要はありません。

